

公益財団法人CTC未来財団

令和2年度(2020年度)(第3期)事業計画書

(令和3年(2021年)3月1日から令和3年(2021年)3月31日まで)

この法人は、明日を変えるITの可能性に挑み、持続可能な夢のある豊かな社会の実現に貢献する「次世代の育成支援」を目的として、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(以下「CTC」という。)が設立者となり、2019年10月1日に設立されました。2020年度から公益財団法人へ移行できるよう運営体制を整備し、2020年6月17日に内閣府公益認定等委員会へ公益認定申請を行い、2021年2月19日公益財団として認定採決を頂戴しました。2021年3月1日内閣府より公益認定書を受領し、公益財団法人CTC未来財団として新たな出発をすることになりました。

第1期では、「児童・青少年に対するIT教育の支援事業」、「障がいのある青少年に対する修学及び就労機会創出の支援事業」を実施し、第2期では、加えて「ITを志す青少年に対する修学支援事業」を開始するとともに、この法人の行う事業が広く一般に認知され、支援を必要とする団体・個人に手が届くよう、情報公開の促進および広報活動に取り組んでまいりました。第3期は引き続き貸出教材および奨学生募集を中心に活動するとともに、公益財団法人として寄附金運用を拡充させるよう取り組んで参ります。

1 事業の概要

(1) 児童・青少年に対するIT教育の支援事業

① ビジュアルプログラミングによる創作意欲を育むワークショップ事業

対面集合型のワークショップはウィルス感染拡大防止の観点から、引き続き自粛を継続します。

② 論理的思考とチームワークを育む教材貸出事業

小学校授業向けに物流をテーマとしたアンプラグドプログラミング教材の教具と説明資料の開発については、1月に埼玉県の小学校での試行を経て、5月以降の貸出運用開始を目標に準備を進めます。

③ 論理的思考と情報科学を学ぶカード教材の開発

ITやコンピューターの学習が難しい小学校低学年でも論理的思考と情報科学を学べるカード型の教材製作については、12月の横浜市の小学校での試行を経て、現場の先生のフィードバックを待ち、検討を継続します。

(2) IT を志す青少年に対する修学支援事業

① 新規奨学生の募集及び選定

主たる家計維持者の収入金額を参考に、全体で10名の選考を実施します。対象大学への告知を行い、2021年3月15日～4月30日の期間、大学を通じて応募を受け付けます。

② 財団奨学生の学業状況の把握

財団奨学生に対し、学業成績の報告を義務付け、奨学金が適切に運用されているかを確認します。また、学生応援給付金支給学生からは生活状況報告書を提出してもらい、給付金が適切に利用されているかを確認します。

(3) 障がいのある青少年に対する修学及び就労機会創出の支援事業

助成金の執行状況を継続的に確認します。

2 令和2年度(2020年度)(第3期)における会議の開催予定と主な審議事項

(1) 第3期第1回理事会・・・2021年3月18日

- ① 令和2年度(2020年度)(第3期)事業計画等の承認
- ② 令和3年度(2021年度)(第4期)事業計画等の承認
- ③ 第3期第1回評議員会の招集

(2) 第3期第1回評議員会・・・2021年3月31日

- ① 理事選任の件
- ② 定款一部改訂の承認
- ③ 理事、監事及び評議員の報酬並びに費用に関する規定一部改訂の承認

以上